

街暮らしの新たな魅力を見つけるために

街なかで自分らしく暮らす人にお話を伺いました。

~番外編 佐賀の街なかで商売をする「老舗」から若者へのメッセージ~

10

メッセージ

ひぜんえびすや

店主 中溝 一雄さん

この街は若っかもん達が
盛り上げてくれよっとです

呉服元町で安永年間より続く老舗菓子店「ひぜんえびすや」を営んでいる中溝さん。ここ10年ほどで呉服元町は大きく変わりましたが、お店とご主人の笑顔、そして店の角の恵比須さんはそのままです。そんな中溝さんに「街なかの物件とプレイヤー」について話を聞きました。

「この街はアーケードがあった頃からするとだいぶ変わりました。以前は佐賀玉屋があつて、寿屋や窓の梅、ミヤコや南里。大型店がたくさんありました。そういうお店が撤退してシャッター街になり、アーケードも古くなっています。でも2009年にアーケードが撤去されながらで、少し増えてきましたが、西村先生（建築家の西村浩氏）（株）ワクヴィジョンズ代表や菊池くん（株）PRESS代表、市役所やユマニテさん等の頑張りで良くなってきたと思います。最初物件を探している菊池くんに会った時、いかにも今どきの風貌でびっくりしましたが、話してみるととても素敵な青年でした。道に迷っているお年寄りがいれば親身に案内をする優しい面とかですね。そして商売のやる気もあって、これからの時代だと想ったので、結局隣の物件（日カメリの勉強室）を家主として貸すことになりました。すると彼はセンスがいいので、すごく好評良い店ができました（Tシャツのプリント工房PRESSのこと）。現在はON THE ROOFの1Fにて営業。移転後の場所にはGOFUKU Local & Giftとしてオープンしました。その後、彼の繋がりでカメラマンの水田君や雑貨屋さんをいたママさん達（SUSIEのこと）のように、この街で店をやりたいという人が出てきて、少しずつ活気が戻ってきました。また656広場では中高生達やアイドルの子達が頻繁にイベントをして盛り上がっているのは良いことだと思います。もちろん全部のイベントが周囲の店の売上に繋がっているわけではありませんが、やっぱり若い人の好きなようにさせてあげないとダメ。年寄りは見守っと



中溝さんが家主を務める物件の変化



①元々は写真のような空き店舗でした。
②その後Tシャツ工房のPRESSに。
③そして今はギフトショップ「GOFUKU Local & Gift」として稼働中。

くだけていいんです。そうやって街は元気になるんです。若者が動けない街は発展しません。まだ街なかには空き店舗がたくさんあります。それぞれでシャッターを開けられない事情はあるでしょうが、この街のことを考えたら、少しでも家主が動かないと。面白い、新しいことをしたい!と思っている若者がいても、家主がまづ動かないと始まらないですよ。私も少しでも若い人が動きやすいよう頑張って、諸先輩方から受け継いだ素晴らしい街をちゃんと若い世代に渡していくべきだと思います。

物件が動くか動かないか、カギの一つはやはり「家主さん」に違いない。

（聞き手：庄野 雄輔）

[INFORMATION] ひぜんえびすや ☎0952-23-5171 ● 佐賀市呉服元町8-5 ● 営業時間／8:30～18:00
● 定休日／月曜のみ ● 駐車場／なし

no.38号
インタビューの
やり方

佐賀玉屋近くにNewスポット ゲストハウスcosaがOPEN



街なかわらばん38号のインバウンド登場したイタリアンのオーナー富永さん。彼が今回新しくオープンしたのが「ゲストハウスcosa」です。以前はまだ工事でしたが、満を持して10/19にスタートしました。1Fがデリカテッセンと交流スペース。2Fがゲストハウスの宿泊スペースと以前からビルに入居しているバーの「番屋」、そして3Fがレストランと宿泊スペースです。スタイルッシュで、すごく素敵!ここを拠点にまた人の流れが変わりそうです。



街歩き

街歩きと寸劇公演がセットに!



佐賀城本丸で活躍中の「幕末・維新 佐賀の八賢人おもてなし隊」。このたび八賢人の役者と子どもをガイドとして、街なかの歴史スポットを巡るまるあきツアーと佐賀城本丸歴史館での歴史寸劇公演がセットになった企画がスタートしています。

（コース）①9:45～ ②11:35～ ③12:45～ ④14:35～ 各約1時間50分
①③賢人と河童のレクリエム（鎮魂）コース 佐賀城本丸歴史館→ 八幡神社
②④賢人と私たちのレガシー（遺産）コース 八幡神社→ 佐賀城本丸歴史館

（開催日）11/17.12/1・15.1/5・19.2/2・16
※参加無料、1日4回、限定15名、事前申込

[お問い合わせ] ☎080-6446-7186（幕末・維新 佐賀の八賢人おもてなし隊 担当／青柳）※前日までにメールにて予約（sagahachikenjin@gmail.com）

地域とともにくすり屋109年
ミズ・溝上薬局

健康長寿日本一 佐賀県を目指して



鎌田 實の
がんばらない
健康長寿実践塾

●第一期 執生定員残りわずか!
入塾の申し込みはミズ・溝上薬局の店舗まで
【電話でのお問い合わせ】 ☎0120-22-7911
受付時間 8:30～17:30(土・日・祝除く)

かわらばん INFO ごあんない

ご意見・ご感想、お問い合わせはコチラへ

かわらばん 編集室

〒840-0826 佐賀市白山二丁目7-1 エスピラツツ2F

[特定非営利活動法人まちづくり機構ユマニテさが内]

TEL 0952-22-7340
FAX 0952-22-7346
MAIL kawaraban@humanite-saga.com

編集後記 今街なかで最も面白い動きがあるエリアの一つが呉服元町です。昔はよく行ったけど、言っていたいなあという方、是非久々に散策してみるのをおすすめします。（編集長 庄野 雄輔）

●アートディレクション・デザイン／松本健児（PINEBOOKS）●イラスト／山本翔（CIEMA）
●ライター／谷口幸恵、茶園彩、高橋香歩、宮崎美穂、伊藤恵子、庄野雄輔

人とまちをつなぐ新聞

街なかかわらばん

TAKE FREE
さが

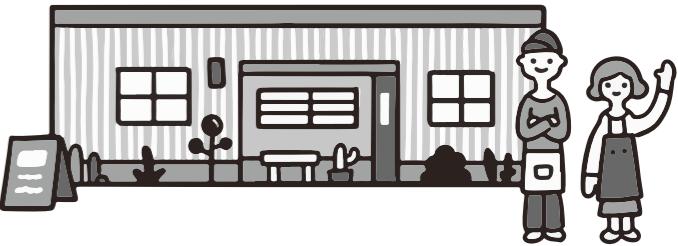
2019.11.15号

no.40

Machinaka Kawaraban

街なかのおすすめ賃貸情報更新中!

www.kawaraban-web.com



「呉服元町のイマ」

呉服元町は2009年に老朽化したアーケードが撤去された後、わいわい!!コンテナ2のオープン、空地の原っぱ化や656広場のリニューアル等を経て少しづつ変化してきました。そして同時に若い街のプレイヤーも少しづつ増えてきて、現在進行形で面白いムーブメントが発生している楽しいエリアの一つです。さらにこの秋、新しい施設「呉服元町ストリートマーケット」も誕生しました。最近行ってなかったなーっていう人こそ、是非足を運んでほしいエリアの一つです。

01 NEW
スポット

こどもたちとママたちの『やりたい!』を叶える場所

呉服元町ストリートマーケット

記者
街なかの愛の伝道師
庄野 雄輔



▲ 女性初日の様子。外には屋台が!

▲ 親子一緒にペイント塗り

▲ SUSIEさんの店内

▲ 12月にはベーグル専門店「mom's Bagel」がオープン

「なんか最近この通り面白くなってきたよね」。そんな声がちらほら聞こえてくるようになった呉服元町。ここ7、8年の間に街の雰囲気は大きく変わり、わいわい!!コンテナ2、COTOCO215、ON THE ROOF等が生まれ、その他にも多くのプレイヤーたちが街なかで活動するようになってきました。そしてそんな中、先月新たに「呉服元町ストリートマーケット」という建物が656広場北側に誕生しました。ここは「こどもたちとママたちの『やりたい!』を叶える場所」をコンセプトとし、まずは同じ呉服元町のハンドメイド雑貨店「SUSIE」がテナントとして移転オープン。続いて12月には横浜の「白楽ベーグル」が監修する。佐賀の食材をふんだんに使ったベーグル専門店「mom's Bagel」がオープンします。この店ではベーグルで使うチーズや野菜を通して佐賀の一次産業のPRをしていくという目的もある。この施設は、佐賀のまちづくりに深く関わってきたワークヴィジョンズの代表である西村浩さん達が、完全な民間事業としてスタートさせました。今回はオープニングイベント時の西村さんとSUSIEさんのお話を紹介します。

「ここがコンセプトは『子どもたちとママたちのやりたい!ができる街を作ろう』というもの。車も通らないし、歩くスピードもゆったり、子どもたちが走り回りながら、お母さんたちが働いたり、子育てをしたり。子どもたちの教育に役立つことをしたり、趣味の雑貨をしたり。そういうことができる状況を作るためにこの建物をつくりました。この通りに子ども達の騒がしい声がしている方がいいと思っていて、そういうのを許容できる社会や雰囲気をつくっていかたいと思っています。街なか全部を一気に難しくないですが、まずはこのエリアだけでも、自分たちでできることをやった上で、一緒にやりたい人がいればやっていきましょうというスタンスです。何かを『やらないといけない』ではなく、『やりたい人がいつでもやれる状況』を街でつくるといいんじゃないかな?『無理しない日常』が大事だと思います」と西村さん。実際、入居するSUSIEさんも育てて真っ最中のライフステージ。そんな彼女たちもそういうこの街の空気の良さを実感しているようです。「子どもを街の皆さんに育てていただけている感じ。うちの子がいなくなったら、あっち行ったよーとか。あと近所の方方が子どもを預かっていただけていることもあります。街全体で子育てができる感じがすごくいいです。本当にここで店を始めて良かったなあと思います」とSUSIEの店長さん。

このように、この通りは確実に変わっています。今回のOPENをきっかけとして、来春から月一回のマルシェも続けていくそうです。なんとなく「がやがや」した空間、お子さんとママさんが笑顔

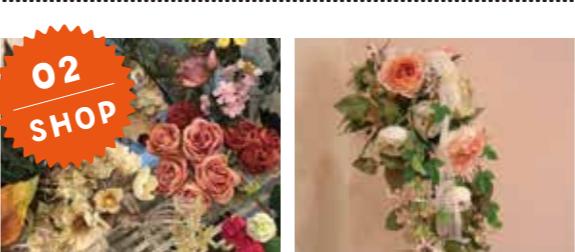
[INFORMATION] 呉服元町ストリートマーケット ※施設に関するお問い合わせ ☎0952-37-5883（マチノシゴトバCOTOCO215）
SUSIE ☎0952-60-1555 ● 佐賀市呉服元町2-20付近 ● 営業時間／10:00～16:00 ● 定休日／土・日曜・祝日 ● 駐車場／なし

02 SHOP

お花を通して、暮らしを豊かに

花のアトリエ フルールドソレイユ

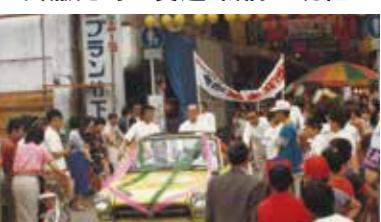
記者
街なか楽しみ見つけ隊
谷口 幸恵



フランス語で「太陽の花」という意味を持つ店名は、花を通して暮らしを豊かに心穏やかにする場所になるように、という願いが込められています。公益社団法人日本フラワーデザイナー協会の会員でもあるオーナーの重富美佐子さんにお話を伺いました。初心者から経験者まで幅広い方に安心して参加して頂けるフラワーレッスンもあり、オーダーで好みのアレンジを作ってもらうこともできます。海外で学術をあげる方の「飛行機で持っていくブーケ」というオーダーに応えて花束を作ったブライダルブーケなど、思い出に残るオーダーも。店内ではブリザードフラワーやアーティフィシャルフラワー、ハーバリウムなどの作品も多数販売されています。レッスンを受けた生徒さんから「心にも栄養をやり過ごたね」と言われたことがとてもうれしかったと、ステキな笑顔で話されました。お花を通して暮らしを豊かにし、様々な人と繋がれる太陽のように暖かい場所になるよう、これからも進化していくお店になります。

[INFORMATION] 花のアトリエ フルールドソレイユ ☎080-3963-4664 ● 佐賀市呉服元町2-24 ● 営業時間／13:00～18:00 ● 定休日／月、水、木曜 ● 駐車場／なし

呉服元町の変遷 戰前～現在



▲ 昔の銀天夜市のコマ

© 銀天夜市実行委員会

1933年：佐賀玉屋 オープン
1963年：アーケード誕生
1965年：佐賀玉屋が中央大通りへ移転
1974年：南里本店 オープン
1979年：窓乃梅と寿屋佐賀店 オープン
1999年：南里本店、寿屋佐賀店 閉店
1999年：佐賀銀行呉服元町支店 撤退(近くに新築移転)
2005年：窓乃梅 閉店
2008年：アーケード 撤去
2012年：わいわい!!コンテナ2 オープン
2014年：マチノシゴトバCOTOCO215 オープン
2016年：656広場 リニューアル
2017年：ON THE ROOF オープン
2019年：呉服元町ストリートマーケット オープン